



第164号
 (2023[令和5]年度 第1号)
 発行 自治会法人松葉町自治会
 編集 松葉町自治会広報部
 題字 石井志治氏
 印刷所 プリンティング山口
 会員世帯数 747
 賛助会員数 22
 (5月1日現在)



特集 ~令和4年度 定期総会 概要~

コロナ禍で書面審議が続いた定期総会でしたが、令和4年度は3月26日(日)、106名の代議員さんに陽光台小学校体育館に参集いただき、対面形式で開催することができました。議事の概要は次の通りです。

はじめに

(1) 令和4年度事業報告に関する件
 (2) 令和4年度決算報告に関する件
 (3) 令和4年度監査報告に関する件
 について一括提案が行われ、特に質問・意見なく承認されました。

(4) 令和5年度の本部役員・専門部長候補者の提案が行われ、満場一致で承認されました。

(5) 令和5年度事業計画案に関する件
 (6) 令和5年度予算案に関する件
 について一括提案が行われ、デジタル化推進予算に関する質問と回答をもって承認されました。

令和5年度 事業計画(取組方針)

- I. 現状の最重要課題

高齢化率の増加と現役世代加入率の低迷、コロナ禍での事業中止等に起因して、会員相互の連帯感が薄れる傾向が進み、その結果、自治会を構成する根幹組織である“組”の存続が危機的状況に向かっている。
- II. 課題解決に向けた取組

上記課題解決のため「自治会組織等検討委員会」を発足、活力ある組及び本部組織のあり方を求めて検討する。検討にあたっては会員が納得性を感じる結果を出すために以下の作業を行う。

 - ・会員の正確な世代実態を把握するため、会員名簿を整備する。
 - ・各組と情報交換を行い、実態を正しく把握する。
 - ・未加入世帯及び賛助会員の加入促進を図る。
- III. 本年の重点活動

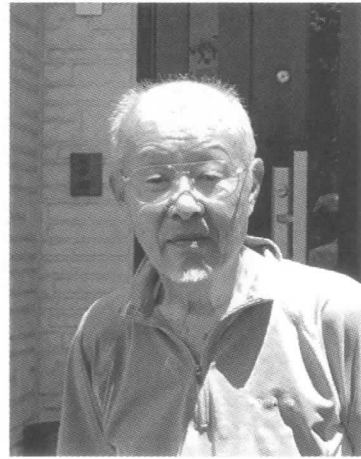
高齢者や働く世代、子どもたちが楽しく集い、会員相互の連帯感が強く防犯防災にもみんなで協力し合える明るい街“松葉町”を目指して

 1. 会員の生活を守り、住みよい街づくりを目指す活動。
 - ①交通安全に不安ある箇所(道路・交通標識等)の抽出と改善要望
 - ②町内美化の推進(ごみ集積場の清掃活動等)
 - ③福祉厚生への推進(新生児へのお祝い金贈呈制度の施行)
 - ④笑顔あふれる街づくり(あいさつ運動の推進)
 - ⑤地域の絆づくり(ひまわり公園の維持管理等)
 2. 防災・防犯活動
 - ①自主防災意識の高揚(防災訓練・防災講話等の実施)
 - ②防災器具・備品の整備充実
 - ③防犯意識の高揚(年末警戒・防犯講話等の実施)
 3. 会員同士の親睦を図る活動
 - ①持続可能な納涼大会の企画・検討・実施
 - ②連帯感を感じられるレクリエーションの企画・検討・実施
- IV. 重点活動推進を支える取組
 1. 資源回収の収益拡大による活動資金の補填
 2. 広報を通じた本部活動内容の見える化による課題意識の共有
 3. デジタルメディアの活用によるタイムリーな双方向情報伝達の試行
 4. 関連団体の支援強化による自治会活動の充実
 5. 公民館主催行事への積極参画による近隣地域との連携強化

令和5年度 松葉町自治会役員名簿(本部)

役職	指名	組
会 長	馬場 吉博	4
副 会 長	清水 陽子	11
副 会 長	松本 頼和	4
総 務 部 長	岩佐 健	11
会 計	柳原 由記子	11
会 計	木林 寿康	13
監 事	北村 一美	21
監 事	片平 正美	23
広 報 部 長	中村 勇二	6
体 育 部 長	金 慶一	3
文 化 部 長	沢口 禎則	1
情 報 宣 伝 部 長	齊藤 久二	14
福 祉 厚 生 部 長	天明 文恒	14
防 犯 防 災 部 長	清水 信夫	16
環 境 整 備 部 長	高橋 啓太	7
会 館 管 理 部 長	磯崎 常明	19

令和5年度事業計画に込めた思い



会長 馬場 吉博（4組）

「明るい街「松葉町」を実現すべく
自治会組織等検討委員会
を発足します」

昨年度の活動は

- ①意見・要望共有
- ②本部からの情報発信増
- ③従来事業の再検討
- ④防災事業への注力

の4点に注力して進め、②、③、④については、まだまだ不十分ではありませんが形ができてきたのではないかと感じています。

しかしながら、①についてはアンケートの実施や、一部の組との直接対話等を通じて会員の皆さんの話を聞くごとに、現状の自治会活動が抱える問題点の多くが、活動の土台となる現状組織の在り方につながっていることに危機感を覚えました。

このような状況を背景に、認識した喫緊の課題解決と将来に向けた準備活動としてまとめたのが第1面に掲示した令和5年度事業計画です。

この中で、私自身の最重点取組としていくのが

自治会組織等検討委員会

を発足し、検討を開始することです。課題が多岐にわたる可能性もあり、年度内で方向性を決められないものがあるかも知れませんが、

明るい街「松葉町」の実現

を目指して1つ1つ解決していく所存です。

なお、この検討を進めるにあたり、従来の本部推薦だけでなく、会員の皆さんを対象に公募することとしました。

自治会組織等検討委員公募結果

5月5日時点で締め切った公募の結果は下表のようになりました。

年齢層	男性	女性
40代	1	0
50代	0	1
60代	0	1

本部推薦委員の確定後、正式に委嘱の手続きが行われます。積極的なご討議をよろしくお願いいたします。

事業計画を具現する 専門部長の所信表明

体育部長 金 慶一（3組）

本年度の体育部長を務めます金と申します。よろしくお願ひします。

令和5年度事業計画のⅢ、本年度の重点活動3、会員同士の親睦を図る活動②で挙げられている通り、従来、体育部のメイン事業であった「運動会」を通じて実現してきた会員同士の親睦を目的とするイベントを見直し、同等、もしくは、それ以上の成果が期待でき、かつ、それを実行するための負担が少ないレクリエーションを企画します。

5月には実行委員会を発足して、内容の検討を開始しますので、良い案をお持ちの方は、所属の組長さんを通じて本部にご一報ください。

レクリエーションとは

さまざまな活動を通じて楽しいひとときを過ごすことで、その人の心や体、生活を活性化させるきっかけになる。また、レクリエーション活動を通じて、相手との人間関係を築いたり、コミュニケーションの促進を図るにも有効な手段、さらに、楽しさやふれあいを体験しながら、人間性豊かな人づくりや心身の健康づくり。イキキした地域づくりに役立つ。

情報宣伝部長 斉藤 久二（14組）
情報宣伝活動を通じて笑顔あふれる明るい街「松葉町」のきっかけを創ります。



情報宣伝部は、毎月1日と15日、会員の皆さんの元に届けなければいけない大事な回覧を組毎・構成会員数に合わせて振り分けた後、それを自治会全体を6地区に分けて担当分けた副部長さん宅を回って配布しています。

この月2回の松葉町自治会散策を通じ、チョット立ち話し運動を推進します。

まずはお隣り、といった身近な方から始め、組員、他の組員、公園、ゴミ置場、お買いものなど、コミュニケーションができるあらゆる場所で推進します。

自分自身が積極的に、小さな事から一歩一歩始め、笑顔で、声かけ、挨拶などが自然に実行できる努力をして行きたいと考えています。

福祉厚生部長 天明 文恒（14組）

令和5年度から新たに、赤ちゃんが生まれた際にお祝い金を贈呈する制度が新設されました。

これまでの福祉厚生はどちらかといえは高齢者向けの取組イメージがありました。今年度からは新しく生まれた赤ちゃんと、その赤ちゃんを支える現役世代に向けた取組が始まることとなります。

また、コロナで中断していた敬老の集いについても、民生委員さんとともに新たな企画を模索しています。

なお、赤十字募金、共同募金のお願いは例年通り行われる見込みです。このため、会員の皆様にご負担をおかけする部分もありますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひします。

環境整備部長 高橋 啓太(7組)

事業計画にある「住みよい街づくりを目指す活動」に重点を置き、次の3項目を中心に活動します。

①町内美化の推進

(ごみ集積場所の衛生美化)

ごみ集積場所は、利用する方々が協力し合って清掃・点検することにより維持管理しています。引き続き、衛生美化にご協力をお願いします。

町内清掃は、春は5月28日実施予定で、自宅周辺の除草・清掃を行います。秋は11月12日の予定で、同日に「ごみと資源の勉強会」を4年ぶりに計画しています。

②地域の絆づくり

コミュニティづくり

ひまわり公園には「みんなで楽しくふれあういこいの公園」という憲章が定められており、この憲章に

基づき、会員の皆さんによる輪番清掃、ボランティアによる朝の清掃活動、婦人会・育成会による花壇の植栽管理等の活動が行われ、維持されています。

一方でゴミやタバコのポイ捨てがあるのも事実です。我々一人ひとりが公園憲章を意識し、継続的な美化に努めましょう。

③1世帯1kg増の取組

全世帯で5千円の収入増

資源回収は、回収量1kgあたり7円の奨励金が市から交付され、自治会の収入源の1つになっています。

資源回収の収入増は、自治会活動を通じて各位に提供されるサービスの質の向上、さらに増えれば、各位が負担している自治会費の補填につなげられるかもしれません。

今年度も毎週火曜日の朝9時までに、ごみ集積場所へ出してください。重いもの(新聞紙・雑誌)は自宅前で見やすい場所に出しておけば回収します。

文化部長 沢口 禎則(1組)

持続可能な納涼大会の

企画・検討・実施

コロナ禍で実施されていなかった納涼大会の開催に向け、検討委員会を立ち上げ、今のニーズに合ったお祭りをめざします。

昨年度実施した納涼大会検討小委員会の中間報告に対する意見調査では、多くの皆さんから提案をいただ

き、従来の納涼大会が抱えている課題をどうやれば乗り越えられるのかのヒントが見えてきました。

変更するところは変更し、伝統として残すべきところは残し、という考えで推進していきます。

会員の皆様のご協力をいただきながら、松葉町納涼大会を盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

防犯防災部長 清水 信夫(16組)

自治会に求められる防犯・防災のキーワードは次の4つだと考えています。

昨年実施したアンケート調査では、

連帯感
防犯防災に協力し合える街づくり
防災意識の高揚
防災器具・備品の整備と充実

防犯・防犯に関する意見・要望が多数あり、会員の皆さんが自治会に求める最も大事なテーマが防犯・防犯であると確信しました。

防犯・防災対策は個々人の取組が基本ではありませんが、特に、防災については、それだけでは十分とは言えません。

自助、公助として位置づけられる内容のうち、公助の現状を自治会の課題として捉え、自治会活動として訓練の実施と啓発活動を、繰り返し、かつ、継続的に実施していきます。

今年度の防災訓練では、

●防犯・防災に関連する講話の開催や情報の提供

●災害時に備えた器具・備品の整備に重点を置き、基本的な訓練を、会員の皆さんひとりひとりが主役となって考え、行動するような内容で繰り返し実践し、かつ、自宅での備えに役立つ内容も検討し、伝えていきたいと考えています。

なお、次ページの広報部の取り組みにも記載していますが、初めての取組として、

自治会支援スマホアプリを利用した安否確認訓練

にトライしてみようと考えていますので、アプリの登録を含め、ご協力をお願いします。

会館管理部長 磯崎 常明(19組)

私自身、初めての会館管理のため、まずは、会員の皆さんが支障なく自治会館を利用できるように努めたいと思っておりますのでご指導のほど、よろしくお願ひいたします。

それができたうえで、新たな自治会館の利用方法等の要望があれば、実現できるように考えていきたいと思ひます。一例として、デジタルメディアを活用した自治会館利用予約のようなことができないか、予約状況だけでもパソコンやスマホで見ることができないかと考えておりますので、ご要望の提案をお待ちしております。

広報部長 中村 勇二（6組）
 本年度の広報の取組は、令和5年度事業計画のⅣ・重点活動推進を支える取組に記載の通り、

【アナログメディア】
広報松葉

【デジタルメディア】

光が丘地区連HPの松葉町ページ

（第1面題字右側のQRコードを

読み込んでください）

を活用して本部の活動内容を見える化することにより、会員の皆さんと本部が課題を共有できる環境を構築し、運用することです。

特にデジタルメディアはタイムリーを実現するプッシュ型情報発信が可能な自治会活動支援スマホアプリをHPと連動させて試行運用し、

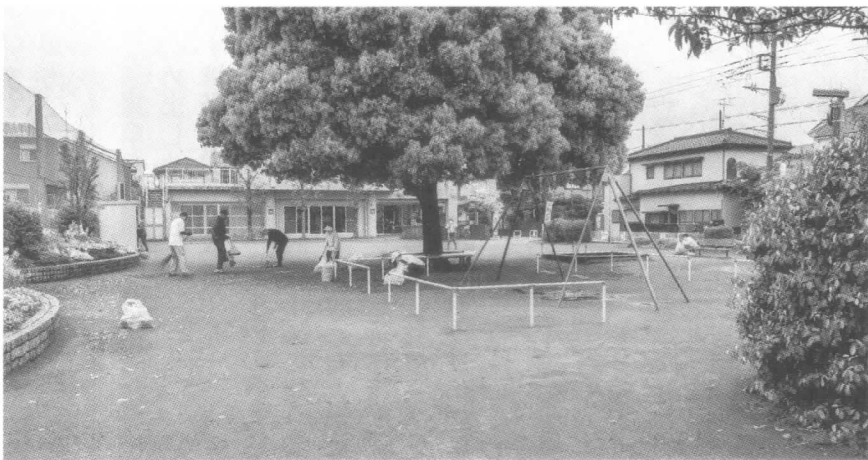
- ・毎月1日、15日の回覧開始と同時に皆さんのスマホに配信通知、その場で内容を確認できるしくみ
- ・防災訓練時、本番を想定した安否確認メッセージ配信
- ・会員の皆さんの意見を聞くための双方向アンケート調査等を通じて登録いただいている皆さんの意見を取り入れ将来の自治会運用ツールの基礎を構築できればと考えています。

My自治会登録状況

5月1日時点でご自分のスマホに登録いただいている方は747世帯中78人で、1割に到達しました。
 登録方法は松葉町HPに載せてあります。締め切りはありませんのでより多くの方の試行協力をお願いします。まだ間に合いますので、積極的な公募をお願いします。

ひまわり公園の輪番清掃を行いました！

4月16日(日)、前日の強い雨から一転、清掃にはちょうど良い天候の中、本部役員でひまわり公園の輪番清掃1回目を行いました。



この活動は、公園の美化はもちろんですが、組員どうしのコミュニケーションのきっかけづくりの場を兼ねています。

左の表は令和5年度の組別輪番清掃当番です。所属する組の当番月を確認し積極的な参加をお願いします。

令和5年度 ひまわり公園 輪番清掃 当番表

実施月	月の前半 /1日～15日	月の後半 /16日～月末日
4月	本部役員 4月16日	9組
5月	10組	11組
6月	12組	13組
7月	14組	15組
8月	16組	17組
9月	18組	19組
10月	20組	21組
11月	22組	23組
12月	1組	2組
1月	3組	4組
2月	5組	6組
3月	7組	8組

ひまわり公園の清掃ボランティア募集！

ひまわり公園は相模原市立の公園として平成13年3月にオープンしました。

設計段階では行政と地元住民が一緒になって考えるワークショップ方式が採用され、松葉町の小学生から高齢者まで30人余りが集まって検討を進め、公園の名前も考えました。

オープン後は、住民参加型の公園とするため、日常の維持管理を担う清掃ボランティア制度を採用、地域住民の手で公園をきれいに保ち、かつ、清掃活動を通じて「地域のコミュニケーションづくり」に活かすことを基本方針とし、オープンから20数年を経過した今でも、ボランティアの皆さんは朝8時30分から公園の清掃を続けています。

しかしながら、オープン当初は60名余りで毎朝行われていた活動が、今は高齢化などの理由により20名ほどに減少、結果、昨年度からは週4日の稼働に減らざるを得ないような状況になっています。

この記事を読まれている皆さん、今一度、ひまわり公園オープンに至った経緯を振り返り、清掃ボランティア活動に参加しませんか。

可能な範囲で構いません。参加可能な方、興味のある方は、まずはボランティア委員松本さんへ連絡をお願いします。

連絡先：7組松本さん
042-752-5024

編集後記

自治会DXの検討という新たなミッションが期中で課された関係で広報担当2期目に突入せざるを得なくなりました。
 今年はありがたいことに若手の副部長さんが作業を応援してくれることになり、今時の世代に受け入れられる広報活動ができればと考えています。